

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 中央化学株式会社

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宇川 進

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画担当 経営企画 (氏名) 中野 保則  
本部長兼広報IR部長

TEL 048-540-2805

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	13,466	△1.8	5	△98.4	△59	—	2	△46.5
23年12月期第1四半期	13,706	△3.1	375	13.7	358	26.8	5	△97.5

(注)包括利益 24年12月期第1四半期 26百万円 (△29.4%) 23年12月期第1四半期 37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	0.14	—
23年12月期第1四半期	0.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	46,774	14,934	31.9
23年12月期	51,345	14,907	29.0

(参考)自己資本 24年12月期第1四半期 14,934百万円 23年12月期 14,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	7.2	1,300	56.0	1,000	43.9	700	309.0	34.74
通期	66,800	6.9	3,300	26.4	2,700	16.3	2,200	30.5	109.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	21,040,000 株	23年12月期	21,040,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	890,902 株	23年12月期	890,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	20,149,098 株	23年12月期1Q	20,149,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、鉱工業生産が上向くなど穏やかに回復しつつあり、個人消費も外食・旅行などサービス消費やエコカー補助金の効果による自動車販売など特定の領域では持ち直してきましたが、一般消費財市場は、コンビニエンスストアを除いては依然として先行き不透明な状況が続いております。また、イラン情勢緊迫などを背景に原油価格は高値圏で推移しております。

このような状況のなか、当社グループの国内では、1月31日から2月4日に東京オフィスにて「Spring Fair 2012」を開催し、今年度春の上市新製品の発表や春夏イベント等案内など、各種販売促進に努めるとともに、お客様を基点とした提案型営業の強化に努めました。これと平行して、Safety（安全）・Quality（品質）・Cost（コスト）・Delivery（納期体制）の充実を目指す「SQCD向上運動」を全部門で実施いたしました。

一方、東日本大震災後の需要の高まりが一段落したことにより、前年同期比では、販売数量が減少し、原材料価格高止まりに加えて、短期借入金の一部を長期借入金に借り替えることで財務の安定性を向上させるための一時的な費用も発生したため、減収減益となりました。

中国においては、経済成長率はやや低下したものの、安全・安心な当社グループ製品に対する安定的な需要もあり、売上高・利益ともに、前年同期比では、ほぼ同水準となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が13,466百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益5百万円（前年同期比98.4%減）、経常損失59百万円（前年同期は358百万円の利益）、四半期純利益2百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は、第1四半期から第4四半期へと進むに伴い、その金額割合が大きくなる為、各四半期には著しい季節変動があり、特に第1四半期の売上高及び利益は、他の四半期に比べると低くなる傾向にあります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、現金及び預金が3,051百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ4,571百万円減少し46,774百万円となりました。

## (負債)

負債は、短期借入金が12,135百万円減少した一方、長期借入金が8,955百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ4,598百万円減少し31,840百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、為替換算調整勘定の増加20百万円等により、前連結会計年度末と比べ26百万円増加し14,934百万円となり、自己資本比率は31.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,851百万円となり前連結会計年度末に比べ3,051百万円の減少となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費532百万円、売上債権の減少1,985百万円があった一方、たな卸資産の増加1,050百万円、仕入債務の減少871百万円等があり、594百万円（前年同期比37百万円の減）の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得334百万円等があり、328百万円（前年同期比281百万円の増）の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額13,089百万円やリース債務の返済176百万円があった一方、長期借入れによる収入10,000百万円等があり、3,355百万円（前年同期比3,067百万円の増）の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回（平成24年2月13日発表「平成23年12月期 決算短信」）の業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,902	4,851
受取手形及び売掛金	13,111	11,224
商品及び製品	5,310	6,338
仕掛品	666	706
原材料及び貯蔵品	1,293	1,346
繰延税金資産	300	244
その他	2,231	1,581
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	30,801	26,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,562	6,503
機械装置及び運搬具（純額）	3,237	3,329
土地	4,563	4,563
リース資産（純額）	2,700	2,638
建設仮勘定	161	106
その他（純額）	767	736
有形固定資産合計	17,992	17,878
無形固定資産		
リース資産	38	33
その他	356	378
無形固定資産合計	395	412
投資その他の資産		
投資有価証券	324	331
長期貸付金	128	131
破産更生債権等	162	156
繰延税金資産	1,676	1,731
その他	127	116
貸倒引当金	△262	△260
投資その他の資産合計	2,157	2,206
固定資産合計	20,544	20,496
資産合計	51,345	46,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,062	12,376
短期借入金	15,628	3,493
リース債務	699	739
未払金	1,744	1,769
未払法人税等	37	32
未払消費税等	76	61
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	—	165
海外事業等再編引当金	36	36
資産除去債務	17	17
災害損失引当金	91	90
その他	1,245	441
流動負債合計	32,639	19,224
固定負債		
長期借入金	675	9,631
リース債務	2,210	2,107
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	674	704
役員退職慰労引当金	46	10
債務保証損失引当金	33	33
資産除去債務	7	7
その他	151	121
固定負債合計	3,799	12,616
負債合計	36,438	31,840
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	3,761	3,763
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	14,591	14,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	2
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	316	337
その他の包括利益累計額合計	315	339
純資産合計	14,907	14,934
負債純資産合計	51,345	46,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	13,706	13,466
売上原価	10,567	10,731
売上総利益	3,138	2,734
販売費及び一般管理費	2,763	2,728
営業利益	375	5
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	0
為替差益	79	136
その他	54	47
営業外収益合計	138	186
営業外費用		
支払利息	109	82
手形売却損	10	6
売上割引	23	20
支払手数料	—	120
その他	13	21
営業外費用合計	156	252
経常利益又は経常損失(△)	358	△59
特別利益		
固定資産売却益	7	—
貸倒引当金戻入額	14	—
受取和解金	—	136
その他	7	—
特別利益合計	29	136
特別損失		
固定資産除売却損	8	4
投資有価証券評価損	2	—
災害損失	317	36
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
特別損失合計	360	41
税金等調整前四半期純利益	26	34
法人税、住民税及び事業税	12	32
法人税等調整額	8	△0
法人税等合計	21	32
少数株主損益調整前四半期純利益	5	2
四半期純利益	5	2



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5	2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	31	20
その他の包括利益合計	32	23
四半期包括利益	37	26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	26	34
減価償却費	548	532
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△1
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	160	△0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34	30
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	△35
受取利息及び受取配当金	△4	△2
支払利息	109	82
為替差損益 (△は益)	△34	△18
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	2	—
有形固定資産除却損	8	4
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,413	1,985
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△210	△1,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,823	△871
未払消費税等の増減額 (△は減少)	0	△17
その他	△461	17
小計	794	690
利息及び配当金の受取額	4	2
利息の支払額	△112	△64
法人税等の支払額	△54	△33
営業活動によるキャッシュ・フロー	632	594
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△193	△334
固定資産の売却による収入	186	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	8	9
その他	△47	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	△328
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△13,089
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△100	△89
リース債務の返済による支出	△187	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287	△3,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	354	△3,051
現金及び現金同等物の期首残高	6,100	7,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,455	4,851

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	12,552	1,153	13,706	—	13,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	250	272	△272	—
計	12,574	1,403	13,978	△272	13,706
セグメント利益	444	57	502	△126	375

- (注) 1 セグメント利益の調整額△126百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	12,263	1,202	13,466	—	13,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	248	254	△254	—
計	12,268	1,451	13,720	△254	13,466
セグメント利益	24	89	114	△108	5

- (注) 1 セグメント利益の調整額△108百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。